



庶民の会
林田 勉
議員

▼庁舎建設について、プロポーザルで提案されたアイデアはそのまま生かすのか、生かせるのか

Q 現在の進捗状況とこれからのスケジュールはどうなるのか。

A 現在、公開プロポーザルにおける最優秀者と契約を締結し、基本設計業務を進めている。今後は、基本設計ができたら議会へも相談し、その後、実施設計、仮事務所への移転、現庁舎の解体、新庁舎の建設を行い、平成三十一年度での完成を予定している。

Q プロポーザルを募集した時点での敷地の条件と、基本設計に入った時点での敷地の条件は変わっているのか。

A プロポーザルを募集するときには、大手広場も含めて一体的な提案を求めた。基本設計業務に当たり、まず庁舎建設の敷地を決定する必要がある、噴水と芝生広場の間の取り扱いについて、警察等の関係機関と協議を行ってきた。その結果、市道を廃止するためには相当地間を要するため、市道は廃止せず、現在と同様に存続させる方向で基本設計を進めたい。

Q 庁舎建設のプロジェクトチームは機能しているのか。

A 建築、道路、都市計画等の部署を含めた全庁的なプロジェクトチームを組織しており、連携をとりながら進めている。今後、事業の進捗に合わせて万全の体制で取り組んでいきたい。

▼島原市の情報発信のIT化と観光スポットに公設無料Wi-Fi設置で観光客を呼び込め

Q 市政情報をフェイスブック等でリアルタイムに発信できないか。

A フェイスブックは費用がほとんどかからず、瞬時に情報を拡散できることが魅力だと思っている。市でも観光やブランド化の分野で積極的に活用していきたい。

▼有明地区の町名町界は今後どうする

Q 合併して十年経つが、町名町界はどのように考えているのか。

A 町の区域や名称については、地域の歴史や文化がしみ込んだ、住民の方には愛着深いものがあるため、町名町界の見直しについては、まだ機運が高まっていないと感じている。



平成会
濱崎 清志
議員

▼ありあけ荘の民間移譲と温泉給湯事業について

Q 民間移譲が予定されている養護老人ホームありあけ荘では温泉が利用されており、年間約四百四十万円の温泉使用料が市の温泉給湯事業特別会計に入ってきている。移譲先の公募にあたっては温泉利用についてどのような検討がされたのか。

A 公募において温泉利用を条件にするとして移譲後の設置場所が制限されるので条件とはしなかったが、移譲後の予定地は温泉給湯管に近い場所なので温泉利用をお願いしていきたい。

▼空き家対策について

Q 少子・高齢化の進展により空き家の増加が懸念されるが、対策を条例化して取り組むべきだと思うがどうか。

A 空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されたが、島原市独自の条例化も視野に入れながら、国から示された基本指針やガイドラインに基づいて運用していきたい。

Q 子育て世代に安く貸したり、地域の憩いの場とするなど、空き家情報を

市が管理してはどうか。
A 法の施行に伴い、データベースの作成や計画の策定、協議会の設置を進めていくが、空き家バンクについては希望する所有者に登録してもらい、活用できるものについては宅建協会などの協力を得て運用したいと考えている。

▼市営住宅の管理について

Q 市営住宅を退去する際の要件はどうなっているのか。

A 退去時の手続き等は条例、規則で定めており、ふすまや畳などの原状回復は自己負担でしてもらうことになっている。退去に関しての原状回復については入居時に説明を行っている。

Q 空き室の管理状況はどうか。

A 老朽化により長期の空き室となっているものについては、適正な管理に努めていく。

▼市道の管理について

Q 市道の維持修繕の要望件数と実績はどのようになっているのか。

A 側溝、舗装を含めた修繕の要望は二十六年で五百件程度あり、半数程度の修繕を行っている。

【その他の質問項目】

◇商店街の活性化について